早期診断・早期対応のための体制整備

認知症初期集中支援チームの設置

【目的】

認知症の人やその家族が安心して暮らし続けるために「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築すること。

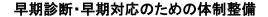
多職種による認知症ケアの中心的存在

早期診断・早期対応のための体制整備

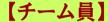
認知症初期集中支援チームの設置

【対象者】

- 原則として40歳以上で**在宅生活**の者
- 以下の条件に該当する者
- ・ 医療・介護サービスを受けていない。
- ・
 //
 中断している。
- ・ // 受けているが、 症状が顕著で対応に苦慮している。



認知症初期集中支援チームの設置





医療系+介護系

- ・認知症サポート医が必須
- 医療系職員と介護系職員 がチームで対応する。
- チーム員会議で支援方針 を決める。
- 短期集中的に支援する。

早期診断・早期対応のための体制整備

認知症初期集中支援チームの設置

【みよし市の場合】



- 市直営で設置
- 市職員と病院職員を中心 に市内事業所の協力を得て チーム編成する。
- 地域支援推進員も関与
- ・ 平成28年度中に開始